

先生方からのメッセージ

5月27日(水)

担当	先生からのメッセージ
教務主任	<p>みなさん、こんにちは。時差登校が始まって4日がたちました。生活のリズムは掴めてきているのでしょうか。この「先生方からのメッセージ」も、今回が最終回となります。</p> <p>多くの先生方が、休業中の自分の家での過ごし方について、書かれていましたので、私にも紹介したいと思います。私は美術の教員なので、久しぶりに自分の作品（油絵）を描いていました。とは言っても、本当に久しぶりで、10年前に始めた絵に、改めて絵の具を載せているといった状況です。そしてもたもたやっているので、完成まではほど遠いといった感じです。ただ、自分の作品と向き合って、「ああでもない」「こうでもない」と考えている時は、とても幸せを感じます。そして、普段の生活の中でも、色や形、光の当たり方などに敏感な「制作者モード」に、久しぶりになっている自分に、ちょっとだけ嬉しくなったりします。まあ、こんな調子なので、なかなか作品は出来上がらないと思いますが、今後、みなさんに見せられる作品ができて、発表できるような機会があったら紹介しますね。</p> <p>さて、6月から久々に忙しくなります。これから暑い季節を迎えます。はっきりした期間は検討中ですが、夏休みも短くなるはずです。過酷な夏が待っていますが、今年から設置していただいたエアコンの力を借りて、みんなで乗り切りましょう！</p>
1学年主任	<p>21日から時差登校が始まりました。昇降口で健康観察を行っていますが、皆さんが元気なあいさつをしてくれるので、気分が明るくなり、うれしさを感じています。毎日3時間だけの授業ですが、どの学年も真剣に授業に取り組む姿が見られました。こまめに手指消毒をしたり、人との距離を取ったりすることを心がけている様子も見られ、一人一人の意識の高さを感じます。</p> <p>いよいよ来週6月1日からは通常登校が始まります。今まで会えなかった隣の学級の友達とも一緒に活動ができますね。コロナ対策で、学校の活動がすべて出来るようになるにはまだまだ時間はかかりますが、できる範囲の中で一生懸命に頑張ったり、思いっきり楽しんだりしてほしいと思います。</p>

読書のすすめ

担当	メッセージ（読書の良さ・お勧めの本など）
教頭	<p>私は自分の親は尊敬しますが、歴史上の人物で尊敬できる人は？と聞かれると答えに困ってしまいます。理由は、「その人物像は、後世の人間によって史実をもとに想像され、作られたもの」だからです。</p> <p>たとえば今、NHKで「麒麟がくる」を毎週やっています。もしかすると年末には「尊敬する人は明智光秀です。」という人が増えるかもしれませんね。ご存じのとおり、光秀は今まで、歴史上の人物としては「嫌われ者」でした。その「嫌われ者」が一転、「尊敬する人物」に変わる。面白いですよね。まさに「物語の力」です。</p> <p>若い頃「尊敬する人物は坂本龍馬です。」という人がたくさんいました。</p> <p>「なぜ？」と聞くと、その内容は司馬遼太郎の「龍馬がゆく」の中で出てきたエピソードばかり。この坂本龍馬への尊敬の念も、司馬遼太郎によって描かれた人物像が、あまりに魅力的だったことに由来するのでしょう。</p> <p>それからというもの、私は彼が書いた歴史上の人物の本をたくさん読みました。司馬遼太郎の本では、「国盗り物語」「坂の上の雲」「義経」。他では吉川英治の「宮本武蔵」「新・平家物語」「三国志」「親鸞」。</p> <p>膨大な資料を収集して練り上げられた「歴史上の人物の物語」は、彼らの想像から生まれたとは思えないほど、生身の人間としての魅力にあふれていました。</p> <p>余談になりますが、登場人物って最初から最後まで成功続きの人はまったく魅力がないのです。どん底があって栄光がある。光があって影がある。ぜひ歴史上の人物を描いた作品を読み、人生を考える機会にもしてほしい、と思います。</p>